

5/16

行政相談委員3名が  
総務省から感謝状贈呈

行政相談委員を務める宇留野美雪さん、木村雅之さん、河西秀美さんに総務省から感謝状が贈られました。3名は、委員業務に特に尽力されたとして、今回の贈呈に至りました。

行政相談委員は、行政に関する疑問や相談などを受け、相談者への助言や行政機関に対する通知などを行っています。不定期で相談会を開催していますので、お気軽にご相談ください。開催日程は随時お知らせ版でお知らせします。



▲7月12日に行われた行政相談会にて、感謝状を受け取る木村雅之さん(左)

6/24

小場城跡発掘調査  
地区住民ら対象に現地説明会

市道工事の前に行われた小場城跡発掘調査の現地説明会を行い、地区住民など50名が参加しました。小場城跡は、小場地区に現在も保存されている戦国時代の城跡です。

説明会では、調査で発見された4つの堀や、高級な茶道具として知られる天目茶碗てんもくちやわんなどについて、調査を行った関東文化財振興会から解説があり、参加者は熱心に聞き入っていました。



▲実際の城跡を見ながら、調査によって発見された堀を解説している様子

6/30~  
7/7

人権七夕飾り 市内4つの保育所児童の短冊が飾られた笹を展示

常陸大宮市人権擁護委員協議会が人権尊重の考えの普及などを目的に、人権七夕飾りを市役所1階に展示しました。

七夕飾りには、大宮聖愛保育園、大宮聖慈保育園、さくら保育園、大賀保育所の児童が各々の願い事を書いた短冊が飾られました。

展示開始日の6月30日には、各保育園、保育所児童が市役所を訪れ、自分の書いた短冊がどこに飾られているかを見たり、七夕飾りとともに記念撮影していました。



▲七夕飾りを見に訪れた聖愛保育園年長 まつ組の皆さん



7/1 「空き家バンク推進員」を設置

今年度から新たに「常陸大宮市空き家バンク推進員」を設置し、7月1日付で内田善一さんに委嘱しました。

市では、空き家を有効活用し、本市への移住定住を促進するため、空き家を使いたい人と使ってほしい人を引き合わせる「空き家バンク制度」に取り組んでいます。今後、推進員は、空き家登録支援を行うほか、空き家所有者や空き家を探す方からの相談を受け付けます。



▲(右)内田善一さん

7/2 ミュージックフェスティバル 開催

市内の中学校、高等学校吹奏楽部が学校の垣根を越えて切磋琢磨することを目的に、市文化センターロゼホールで「第16回ミュージックフェスティバル」を開催しました。

第1部では市内各中学校吹奏楽部の演奏、第2部ではゲストの常陸大宮吹奏楽団による演奏が行われました。

プログラム最後の合同演奏では、1部2部の出演者に市内高等学校吹奏楽部、顧問の先生方も加わったパフォーマンスに、来場者から大きな拍手が送られました。



▲第3部の合同演奏では出演者全員で「吹奏楽と打楽器のためのセレブレーション」「宝島」を演奏しました。

7/2 中学生も河川敷清掃で参加 市内一斉クリーン作戦

ごみのない清潔で住みやすいまちづくりを目指して、市内一斉クリーン作戦を行いました。地域住民など約9,200人が参加しました。

大宮中学校や大宮第二中学校の生徒、ボランティア団体による久慈川・那珂川河川敷のゴミ拾いも4年ぶりに行われ、地域の子供たちが、市の自然の象徴である2つの川の環境美化に取り組みました。



▲大宮中学校生徒が久慈川河川敷を清掃する様子

7/9 御前山ダムでサイクリングとカヌー「ペダル&パドル」開催

水戸商工会議所との共催で、サイクリングとカヌーを組み合わせた体験型観光プログラム「RIDE ON 310 ペダル&パドル」が開催されました。

24名の参加者は、自転車で水戸市の千波湖を出発し、御前山ダムまでの片道35kmを、田園風景を楽しみながらサイクリングしました。御前山ダムでは、カヌーに乗り、湖面で涼みながら、癒しの時間を満喫しました。



▲水戸からサイクリングで御前山ダムに到着したあと、ダム湖面でカヌーを楽しむ参加者の皆さん

7/3, 7/23 「社会を明るくする運動」 内閣総理大臣からのメッセージ伝達と街頭啓発活動を実施

7月3日、常陸大宮市役所で「第73回社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージ伝達式を行いました。那珂地区保護司会大宮分会長の増子泰さんが、メッセージを読み上げ、市長に手渡しました。

また、7月22日には、道の駅みわ「北斗星」で、23日には、道の駅常陸大宮〜かわプラザ〜で街頭啓発キャンペーンを行いました。那珂地区保護司会大宮分会と常陸大宮市更生保護女性会から合わせて35人が参加し、のぼり旗の設置や啓発グッズの配布を通じ、啓発活動を行いました。

「社会を明るくする運動」とは、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、あやまちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、力を合わせて犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。本市では、那珂地区保護司会大宮分会、常陸大宮市更生保護女性会などの団体がこの運動を支えています。



▲(写真右から)那珂地区保護司会平塚好光さん、増子泰さん



▲道の駅常陸大宮ではグッズの手渡しとともに、「社会を明るくする運動」の啓発を行いました。

7/14 全国自治体で初！哺乳びんの回収ボックスを設置

耐熱ガラスなどの特殊素材で作られていることから、これまで資源ごみとして回収できなかった哺乳びんの回収ボックスを、全国の自治体としては初めて庁舎内に設置しました。

哺乳びん回収ボックス設置は、市と関わりの深いピジョン株式会社が、明日生まれる赤ちゃんの未来にも豊かな地球を残すために進めている「Pigeon Green Action Plan」のひとつとして行っているものです。この活動に市が賛同し、設置と回収の協力を行うこととなりました。回収した哺乳びんは新たな哺乳びんやプランター、パレットなどに生まれ変わります。

市役所本庁舎以外にも、各支所、総合保健福祉センター、こどもセンターの7カ所に専用回収箱を設置していますので、お子さんが成長し、ご家庭で不要となった哺乳びんがありましたら、ぜひお持ちください。

※回収はピジョン(株)製の哺乳びん、乳首、フード、キャップに限ります。他社製品や破損しているものは対象外です。



▲こども課前に設置された哺乳びん回収ボックス。環境に配慮し、ダンボールなどで作られています。



▲ガラスびん回収部分は緩やかな坂になっており、割れないような工夫がされています。

7/13

## 交通安全子供自転車茨城県大会 大宮北小が団体6位入賞

第57回交通安全子供自転車茨城県大会で、常陸大宮市代表として出場した大宮北小学校が団体の部6位、個人の部では金子志貴さんが7位に入賞しました。この大会は、小学生に自転車の安全な乗り方に関する知識と技能を身につけてもらうことなどを目的に行われ、県内23地区、92名が参加しました。競技は、筆記テスト、S字などを走る「技能走行」、交差点や横断歩道などを適切に走る「安全走行」の3種目で競われました。



▲(左から) 出場した大宮北小 横山沙羽さん、金子志貴さん、綿引ハルさん、高岡和羽さん

7/16

## ピジョン美和の森散策ツアーを開催

市とピジョン株式会社の共催で「ピジョン美和の森散策ツアー」を開催し、平成28年に「ピジョン赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン」で植樹した家族の中から関東在住の19家族が参加しました。

「ピジョン美和の森」で、7年前に植樹した木が自分の背丈より成長しているのを確認したり、同日開催の鷲子山上神社夏季例大祭の見学などを行いました。猛暑の中でしたが、子供たちは元気に夏の一日を楽しみました。



▲赤ちゃんの頃に植樹した苗木と成長した姿で再会しました。

7/22

## 長倉城跡草刈りボランティア

御前山地域にある長倉城跡で、地元のボランティアによる草刈り作業が行われました。

長倉城は戦国時代に常陸の国を治めていた佐竹氏の歴史の中でも重要な戦があった場所です。400年ほど前に廃城となりましたが、多くの歴史ファンが訪れる場所となっています。

この日も地元の人たちが草刈り機を持参し、遠方から訪れる方々に気持ちよく見学してもらおうと、草刈りに汗を流しました。



▲この日はボランティアメンバー14人が集って草刈りを行いました。

### 人権擁護委員のご紹介

皆さんの人権を守るための活動を行う人権擁護委員として7月1日付で中嶋正夫さんが加わりました。下記の9名で活動していますので、お気軽にご相談ください。

#### 【常陸大宮市人権擁護委員】(敬称略)

山崎 江里子	篠田 敏夫
金子 正平	宇留野真由美
坏 民生	大串 理恵子
廣木 なほ子	中嶋 正夫
井樋 代里子	

### 善意をありがとう

○カバヤ食品株式会社 関東工場様  
塩分チャージタブレット2,496袋(市内小中学校へ)

